

## 【事業実績】

### ○体験事業検討会議

**日時** 令和3年2月3日(水) 13:00～14:00 WEB開催

**参加者** 外部有識者2名 実行委員会委員

#### **結果**

- ・博物館（学芸員）と教育機関（学校教員）のネットワーク形成において、地域住民とも関わりを持つことが重要
- ・既に地域で行われてきたツアー等を参考に子ども向けアレンジを加えていくとよい。

### ○ワーキンググループ

**日時** 令和3年2月25日(木) 15:00～16:30 WEB開催

**参加者** 教育関係者：学校教員2名、宮津市教育委員会3名、実行委員会委員

#### **結果**

- ・街歩きツアーコースを宮津城下に決定
- ・ツアーのポイントは、普段目にしていないものを糸口に、地域の歴史を想像する視点を養うことや、世代間交流や地域住民との交流
- ・学校の授業とは違った視点の学びを提供することが重要。

### ○つなプロ「街歩き下見ツアー」

**日時** 令和3年3月16日(火) 13:30～15:30

**参加者** 外部有識者2名 教育関係者：学校教員1名、宮津市教育委員会職員3名  
案内役：京都府立丹後郷土資料館 学芸員（つなプロ実行委員会 委員）

#### **コース**

【宮津市役所前－大手橋－大手川右岸－宮津小学校－宮津駅－関西電力－宮津警察署－流域下水道ポンプ場－たもの木－本丸付近－石垣石材（移築）－本丸石垣－一色稻荷－大手橋－宮津市役所前】の約2時間の行程

最初に宮津城の歴史について概説。画期は、長岡（細川）藤孝による築城、京極高知による再建、京極高広による改修・拡張の3時期であることが近年の発掘調査などによりわかっている。

コースの途中では、発掘調査で城の遺構が見つかる場所や現在の町割りなどから城の痕跡を読み取ることができる場所など要所で、江戸時代の絵図と現在の地図を重ねた図などの資料を使って解説。

#### **参加者の反応**

宮津城の遺構が地上にほとんど残っていないので、このコースは知っている人に案内してもらわないと分からないという意味で価値が高い。

残っていないと思っていた宮津城の痕跡が、外堀や内堀に沿う道、道路側溝などの形で意外に残っていた。これも、そういう目で見て初めて気が付く。

大正頃までは堀の一部や庭園の池などが残っていたことなど、地元においても知らないことが多かった。

大正時代に町営住宅（現・市営住宅）が建てられた場所が、宮津駅に近くの外堀の外側

に立地していることが面白い。これらの公営住宅は老朽化しているが、モダンな良い建物。残せたら良いと思う。

### 街歩き下見ツアーの様子



市役所脇



大手川右岸



たもの木



本丸石垣

### 実施に向けた打ち合わせ

コースの長さ等は問題ない。総合学習の時間に出前講座で事前学習を行い、興味を持った子どもが本事業に参加できるように促す。夏休みに参加希望者で事前学習。ツアー後、成果発表会に向けてまとめの会。地域の方にも協力していただく。

#### ○事業報告会

**日時** 令和3年2月25日(木) 15:00~16:30

**参加者** 外部有識者3名、実行委員会委員

#### **結果**

- ・街歩きツアーは痕跡をたどるだけでなく、逆に痕跡が消えていったプロセスをも学ぶことができ、街の歩き方そのものが変わる。シビックプライドにつながる取組だと感じる。
- ・今後子どもを対象にするにあたり、ツアー参加への好奇心をかき立てる問題提起が必要。
- ・今は残っていないお城の痕跡の発見とお城を再現した VR 体験とを織り交ぜることにより深い学びにつながるのでは。
- ・学びを育てることと同じくらい提供し続けていくことも重要。